

*題名中に書名が出現する場合は、引用符「」で囲みイタリック体を使用しない。

六 投稿原稿は、コピーを一部添付すること。原稿は著者校正の際も原則として返却しないので、手元にコピーを一部残すこと。

七 著者校正は、原則として原著・総説・研究ノート・広場・資料を対象とし、初校のみとする。校正は字句の訂正に留め、組版面積に影響を与えるような改変や、その他の組み替えは認めない。校正刷りの返送期日を厳守すること。期日までに返却されない場合は責了とみなす。

八 刷り上り五印刷ページ(四〇〇字詰原稿用紙で一二枚)までは原則として無料とし、超過分と図表製版の実費は著者負担とする。

九 論文別刷は五〇部単位とし実費で作製する。別刷希望者は校正刷第一頁の上方に部数を朱書すること。

一〇 原稿の送り先

〒一一三 東京都文京区本郷二丁目一一一

順天堂大学医学部医史学研究室内

日本医史学雑誌編集委員会

編集後記

▼この三八巻三号から発行の日付がかわりました。今までの日付が実際の発行月日より、二か月ほど遅れていたのを正常化するためです。つまり本三号はこれまで七月三十日付発行でしたが、今回より九月二十日付。以下同様に四号は十月三十日から十二月二十日に、次巻の一号は一月三十日から三月二十日に、二号は四月三十日から六月二十日に発行の日付が改まることとなります。お含みおき下さい。▼前巻の四号と当巻の一号は「地域の医史学」特集号でした。その表紙に日本の古地図を色刷りしたのを契機に、しばらくこの趣向を続けることになりました。図版に合う色の選択はなかなかセンスのいるものです。表紙は本誌の服装なので、個人の服えらびのようにもいかず、でき上りを見るまでドキドキです。▼さて前回の特集はテーマの設定上、日本の各地域がおよそ網羅できるよう、多くは依頼原稿により編集しました。幸いご賛同を得て二号にわたる特集号が組めましたが、依頼原稿につき原著扱いであっても査読制はとっておりません。今後のこともあり、ここにお断りしておきます。▼なお特集号などの事情から掲載が遅れている論文もあり、それ等についてはまことに申し訳ありません。いまま少しお待ち下さい。投稿が多いことは編集委員会にとつてうれしいことですが、すみやかに掲載できるよう心掛けてゆくつもりです。

(真柳 誠)